

第4回

新胎児学研究会

日時：平成28年11月12日(土) 13:00～19:00

会場：「ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター」
滋賀県大津市におの浜1-1-20

会長：高橋 健太郎（滋賀医科大学 地域周産期医療学講座 特任教授）

会費：医師 5,000円
医師以外 3,000円

※講演会終了後、ホテルピアザびわ湖にて懇親会
(参加費3,000円)を予定しています。

※学生(大学院生含む)・初期研修医・新人助産師
(1年目)は講演会および懇親会とも無料です。

【招請講演】

“The untapped potential of using ultrasound to improve research and clinical practices”

Dr. Nadja Reissland (Durham University, UK)

【教育講演1】『ヒトの行動発達と身体機能リズム ～自閉症を中心に～』

小西 行郎（同志社大学 赤ちゃん学研究センター 教授）

【教育講演2】『発達期の神経回路発達と麻酔暴露 ～発達障害との関連～』

佐藤 泰司（防衛医科大学校 薬理学講座 准教授）

【教育講演3】『多胎児の心理学』

安藤 寿康（慶応義塾大学 文学部 教授）

【教育講演4】『血流シミュレーションから見た多胎児』

大島 まり（東京大学大学院情報学環・生産技術研究所 教授）

【シンポジウム】 “多胎の胎内干渉”

『胎児期における双胎の相互干渉』

秦 利之（香川大学医学部周産期学婦人科学 教授）

『胎児の動きと自他認知』

竹下 秀子（滋賀県立大学 人間文化学部 教授）

『多胎児の発達障害様の症状』

金澤 忠博（大阪大学人間科学研究科 教授）

『母からみた双胎児の発達評価』

佐々木 睦子（香川大学医学部看護学科母性看護学 教授）



Main Theme

多胎は胎内でお互いにどのように干渉し合い、
出産後にどのような影響を与えるのか？

事務局 長 小野 哲男（滋賀医科大学産科学婦人科学講座 tetsuono@belle.shiga-med.ac.jp）

事務局 担当 越田 繁樹（滋賀医科大学地域周産期医療学講座 koshida@belle.shiga-med.ac.jp）